

会員の広場

家族旅行（群馬紀行）

武田 孝二

私は80歳になったお祝いとして家族から昨年8月31日から2泊3日の群馬県の楽しい温泉旅行をプレゼントされたのです。兄と妻と私の3人で私の家から出発しました。熱中症対策をしっかりとやろうと水分を切らさぬように水は持参しました。兄の車で圏央道から草津に向かって出発進行です。安全運転のため2、3のサービスイリアで小休憩をとりながら八ッ場ダムで大休憩をとりました。



八ッ場ダムは多目的ダムで、周辺には地元の人々に古くから親しまれ、大寒に奇祭「湯かけ祭り」が行われる川原湯（かわらゆ）温泉や関東の耶馬溪と言われる吾妻（あがつま）渓谷があり、ダム建設現場一帯は観光地としても知られています。吾妻川は白砂川や万座川から流入する強酸性の河水の影響で酸性となっていたが、1965年より品木ダムおよび草津中和工場を中心とする中和事業「吾妻川総合開発事業」により水質改善されています。

このダムが当初計画どおりに完成すると、川原湯温泉街を始めとする340世帯が完全に水没するほか、国指定名勝である吾妻渓谷の中間部に建設されるので、その半分以上が水没し、一挙に観光資源が喪失することが心配された。ダムによって地元に戻元される固定資産税が、水没地を抱える長野原町ではなく、ダム堤の予定地がある下流の吾妻町（現・東吾妻町）に落ちることも問題となった。また、首都圏に住む人々のために、水没地の住民が犠牲になることには断固反対するという声が出てきた。町議会の「建設絶対反対決議」を始めとして、町全体を巻き込み、長期にわたる反対運動が展開されたのです。そんな記事も新聞を賑わしていたことを思い出しました。

湯畑付近を散策し、初めての草津の湯を楽しんだ。これまでは「草津の湯の温泉の素」を溶かしたものにしか入ったことしかなかったのに本物の湯に入れたのだ。嬉しかった。疲れもあつたが2、3回お湯に浸かっぐぐすり眠った。

2日目も兄運転の車で伊香保に向かった。途中で浅間山を見ながら走り、3時頃に温泉街に着いた。



伊香保の温泉街は階段が多くビックリした。ここでも饅頭をほおぼりながら宿に向かった。玄関には宿のスタッフが大勢お迎えに出てくれたので景色は最高で気分は爽快でした。

夕食は家族専用の広い場所で宿のおかみさんが各テーブル毎に挨拶に回っているところが他の旅館には見られない風景でした。殿様になったような気分でした。記念の写真を撮ってもらいました。嬉しいかぎりです。



朝食はバイキングで自分が好きな料理をとっていきませんが、品数が豊富でどれも食べてみたいものばかりで大満足でした。その後竹下夢二記念館・榛名山・榛名湖などを観光し、碓氷峠にご存じの「横川の釜めし」を買いました。こうやって私の旅は幕を閉じたのですが、兄貴には随分お世話になった。家族にいいことがあつたら今度は私も孝行したいと思つた次第です。

特記事項

自転車の交通違反に反則金



警察庁が「自転車ルールブック」を公表。自転車で「ながらスマホ」や「歩道通行」をしたらどうなるのか、身近な自転車の違反行為について説明しています。違反すると刑事処分も。

- 「自転車ルールブック」は、2026年4月から信号無視など113の違反行為に反則金が設けられる「青切符」が導入されるのを前にまとめられたものです。歩道通行中に危険な行為が認められれば直ちに青切符が切られ、反則金6000円が徴収されます。基本的に16歳以上が対象です。
- 【主な違反と反則金】
- ▼3000円：2人乗り 並走など
- ▼5000円：イヤホン着用 無灯火、泥はね運転など
- ▼6000円：信号無視 逆送 スピード違反など
- ▼12000円：ながらスマホ（運転中の携帯電話使用）
- なお13歳未満の児童・幼児、70歳以上の高齢者、または身体の不自由な方は走行できる歩道でも注意が必要になります。
- ▼歩道の中央から車道寄りを徐行（違反した場合3000円）
- ▼歩行者の通行を妨げる時は一時停止（違反した場合3000円）
- やはり歩道は歩行者優先です。

編集後記

昨年の夏は異常に暑かったけど今年の1月末からは寒波が押し寄せた。食べたいハタハタなどの魚は捕れず、季節は2局化していくのだろうか。日本の四季が10年前に戻ってこないかと思う。

（小野）